

Book Guideで紹介した本は、新刊として菅生・蔵敷こども文化センターに配架されます。

図書室から Book Guide No.253

ともだちタワー

ケルステン・シェーネ/文・絵
佐藤淑子/訳

バイ・インターナショナル
1400円+税

作者はドイツ人。世界十二か国で翻訳されているという本。動物園で暮らす小さなペンギン。元気がないので、ほかの動物たちは心配してたずねると「僕鳥なのにこへない」と答えます。いろいろ試してみましたが難しいのです。

「一度でいいから雲の上をふわふわ飛んでみたい」そんなペンギンの願いを聞いた動物たちは、どうやってペンギンを雲にとくくようにしたのでしょうか・・・。

読み進めるうちに、途中で本を縦にする・・・など、なんことが起るのでしょうか。



NPO Akaiyane 特定非営利活動法人 あかい屋根

NPOあかい屋根広報紙 発行: 特定非営利活動法人 あかい屋根 ひまわり編集部 044-976-0444

ひまわり 第 527 号 2020/ 7 / 1

蔵敷こども文化センター 集会室に待望の冷房が！

蔵敷こども文化センターの集会室に、待望のクーラーの設置工事が始まっています。この広報紙が皆様の手元に届く頃には、工事が完了しているかと思えます。

今までの蔵敷こども文化センターの集会室は、真夏の気温はサウナ状態と言っていいほどの部屋で、子どもたちは顔を真っ赤にして遊んでいました。何とか気持ちよく遊べるようにクーラーを設置できればと思っていたのですが、大きな部屋で家庭用のクーラーでは間に合わず、かなりの予算が必要とされるため、川崎市に設置をお願いしていたところ、今年度、ようやく予算化されて設置できる運びとなりました。天井裏に配管を事務室迄通したりするかなり大がかりな工事です。

ようやく、設置され、今年の夏は気持ちよく過ご



せるはずなのですが、新型コロナウイルスの影響で3密のうちのひとつ「密閉」を避けるために換気を行わなくてはなりません。十分に能力が発揮されますかどうか・・・効果のほどは如何でしょうか？

菅生こども文化センター

NPO法人あかい屋根の facebook で

動画の工作紹介



NPO法人あかい屋根の Facebook に、工作の手順を動画にしたものをアップしました。コロナの影響で様々なこども文化センターのイベントが中止となっています。お家で、親子で遊ぶ時間が出来たら最高の思いで作ったものです。

毛糸のボンボンを作るだけのものなのですが、いくつか重ねると紫陽花のようです、葉っぱを作り、竹で作ったカタツムリを添えると、梅雨の風景が・・・。カタツムリは竹の輪切り大中小を用意して大は半分に、中と小を重ねるとカタツムリのお家ができて、角を二本立てると、どうです・・・カタツムリに見えませんか？ 工作は菅生こども文化センターでも作れます。また動画の他、NPO法人あかい屋根 Facebook には様々な情報が満載です。ぜひ覗いてみてください。

なが い 編集後記 85

◆7月1日からレジ袋が有料化される。プラ製品について、みんなが考えるきっかけになるなら大賛成だ。多少面倒にはなるが環境汚染の観点からも、早く「当たり前」のこととなることを期待したい。

◆いつの頃からか買い物籠に代わってレジ袋が当たり前になった。たぶんスーパーマーケットが台頭し始めた頃ではないだろうか。レジ袋には、「この店で買いました」そして「清算済みです」というサインの意味もあったのではないだろうか。購入した物を店が出すレジ袋に入れることによって「万引きではありません」という区別のためにレジ袋は提供されるようになり、買い物籠は無用の長物となった。

◆既に有料化されている店もある。「レジ袋は有料ですがご利用ですか?」「一枚3円ですがよろしいでしょうか?」と尋ねられる。大概はマイ袋を持参しているのだが、出かけたついでの時は、「しまった」と思いつつ「3円なら」という気になってしまい、「お願いします」と言ってしまう。「3円なら」と思う人はきっと多いはずで、有料になったからと言って「節約」のために「いりません」と断る人はどれほどいるだろうか。どうせ有料化するならば「環境税」も含めて100円くらい徴収すればいいのにとも思う。

◆ムシムシして気だるく感じる朝。お弁当用のお米も炊いていたのに、天気予報では真夏日になるというので、昼にご飯を食む気になれず、久々にコンビニのと

ろろ蕎麦を買って出勤することにした。気温は上がり蕎麦の咽喉越しが良い。食べ終わって容器を始末しながら矛盾に気が付いた。とろろ蕎麦が入っていた容器全てがプラ製ののだ。蕎麦が入っている器。蕎麦の上には一枚のプラフィルム。その上に蕎麦つゆがプラの袋に詰められてデンとある。蓋と容器の間にプラの仕切りがあり、とろろ、なめことオクラ、プラの袋にワサビが入り、温泉卵が仕切りの中に浮かび、そしてプラ製の蓋がかけられている。さらに蓋が外れないようにプラでできた帯が。プラが一つの商品にふんだんに使用されており、レジ袋の比ではない。スーパーでもコンビニでも商品は、ほぼプラ製品だ。レジ袋の有料化による環境汚染に対する意識喚起は結構だが、商品の脱プラ化も国は指導すべきなのではないだろうか。カップ麺が紙容器になったように、工夫次第で不可能ではないはずだ。

◆もう一つ。環境教育の徹底が必要だ。センターに来る子どもたちを見ていると、高校生でも「燃えるゴミ」「燃えないゴミ」の区別がつかない。レジ袋にすべてガサガサと詰め込んで捨てる。「分別してね」と言って傍にいと、「これは燃える?」と聞いてくるので本当にわからないのだ。社会常識の「分別」ができるようになることと、「道端に投げ捨てない」。環境教育はこの2点だけでいい。ゴミは家に持ち帰り、しっかりと分別して捨てられれば、プラによる環境汚染、少なくとも海洋プラゴミは回避できる。

統括館長：針山直幸

こども文化センターは地域の宝①

稗原団地の自治会長、瀬尾氏から、「菅生の地に新たに引っ越してくる人が増えている。こども文化センターは地域の宝。もっと皆にできるまでの住民の思いなどを知ってもらいたい。」との話がありました。『地域の宝』などと言っていただけでも本当にありがたいことです。菅生こども文化センターの誕生をまとめてみたいと思います。

里山の風景が残っていた菅生

右上、歴史表でもお分りの通り、菅生の地に市営バスが走り始めたのは、戦後の昭和27年。それ以前は立川自動車運輸(現：立川バス)が営業権を持ち、日に何本か走っていたとのこと。市営バスになっても、どれほど走っていたことか。また、終点は蔵敷で、今の「味の民芸」のところが折り返し所でした。稗原まで延長されたのは東京タワーが完成した年です。

菅生の田畑を潤し続けた平瀬川が多摩川に注ぐまでに水車小屋が10か所あったといひます。田畑に水を引く「堰」もいくつもありません。今でも「堰下」という名のバス停があります。日本社会が高度経済成長で神武景気だ、岩戸景気だなどと湧いているとき、菅生には、まだまだ日本の里山の原風景が残されていたのです。

開発が始まった菅生

昭和40年前後に菅生の各地で大規模開発が行われています。その要因の一つは、昭和41年に東急田園都市線が開通して、溝の口から長津田まで延伸し、東京のベッドタウン化が進んだこと。もう一つは、公害問題があります。

田園都市線が延伸されても、駅へ直結していない菅生地区は開発に伴う整備が遅れていました。バス



高度経済成長期煤煙は「工都川崎」の誇りでもあった 2

菅生地区の開発歴史表	
昭和27年	市営バス溝口蔵敷線 営業開始
33年	市営バス蔵敷から稗原まで延長
36年	防衛庁第5研究所開設
38年	菅生団地(事業団)
39年	蔵敷団地
41年	稗原団地
41年	東急田園都市線溝口・長津田間開通
47年	鷲ヶ峰住宅
47年	菅生台
50年	菅生こども文化センター開館
51年	清水台団地

山野が拓かれる造成風景 ブルドーザーが時代を語る



稗原団地自治会創立50周年記念誌より

停までの道は未舗装状態で、雨が降るとぬかるみがひどく、出勤するのに革靴では歩けないので、奥さんが革靴をもってバス停まで行き、見送ったあとにそこで履き替えた長靴を持って帰ったという話があります。

もう一つの公害問題は、高度経済成長政策のつけとでも言えると思います。生産に次ぐ生産が経済を発展させたものですから、どうしても環境を守ることは二の次となり、人々に様々な影響を及ぼしてしました。川崎駅を降りると、煤塵が降り、工場の悪臭が漂っていました。「子どもたちを少しでも良い環境で育てたい」との思いで菅生に移り住んできた人が多くいました。

文化もほしい

多少の不便は覚悟していたものの、いざ住んでみると自然は手に入れられたものの、文化からはかなり遠ざかっていることに気が付いたのです。

まず、無医村状態です。一番近い医療機関は、ヤマダ電機向丘店の近くにあった、市が運営していた「向丘診療所(現在は廃止)」でした。映画館も図書館も本を一冊買うのも溝の口までバスに乗っていかなくてはなりません。そのバスも、今のシャトレーゼ前の道はなく、初山幼稚園、向丘小学校、



7月のお知らせ



☎044-976-0444

22日(水) 15:00~16:30

あそべば 誰でも 無料

めざせしのびのみち(屋外遊具でトライアル)

<7月の工作> へんしんコースター

スタッフに言えばいつでもできます!



☎044-977-2577

15・22・29日(水)

ぞうさんのポケット 誰でも 無料

15日 ポッチャ

パラリンピックの公式種目に挑戦

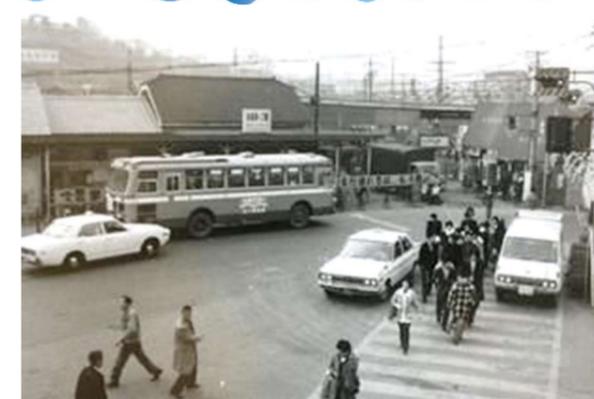
22日 ボードゲームパーク Zo-shik

集会室がボードゲームパークに!

29日 ミニミニおぼけやしき

一日だけのちょっぴり怖いお化け屋敷

様子を見ながら少しずつともどもどしていきます。



昭和40年代の溝の口駅前

そして殿下橋まで田んぼの中の道を走っていたので、すれ違いができずに交換所で待つなど1時間ほどかかっていた。小さな子どもの手を引いて文化を手に入れるために溝の口まで行くには、大変な労力が必要だったのです。

野山を切り開いて、菅生に移り住んできた人々のほとんどが子育て世代でした。そして、共働き世帯はほとんどなく、専業主婦がほとんどという時代背景がありました。その専業主婦のお母さんたちが子どもたちのためにとグループを作って始めたのが、県立図書館が貸し出す「段ボール文庫」活動でした。その段ボールは当番制で、平等にグループの家庭を回りました。急激に人口が増えた地域だったので、菅生小学校の校庭はプレハブ校舎で埋め尽くされ、貸し出す図書もありませんでした。このダンボールこそ文化の窓口だったのです。地域の子どもたちは、本を手にするためにそれぞれの家庭に上がり込み、垣根はあつてないようなものだったとのこと。

児童図書館から児童館建設運動

お母さんたちが、子どもたちの様子を見て、「公的な施設で子どもたちが自由に本を読める場が欲しい

い」と思うのにそんなに時間はかかりませんでした。「児童図書館」はどうやったらできるのか。母親たちの学習会が始まりました。当時、宮前区はなく、高津区の一部だったので、高津市民館の家庭教育学級を招聘して学習するうちに、総合的な「児童館」=こども文化センターが必要と「作る会」を結成。建設運動が始まりました。

革新市政の誕生

公害問題をはじめ、社会を変革させたいとの風潮が広がり、政治も「革新」が台頭した時代です。昭和42年に誕生した美濃部東京都知事がその皮切りでした。川崎市も昭和46年に伊藤革新が誕生します。美濃部都知事は「東京の空は綺麗になった。しかし、東京から富士山はまだ見えない。それは郊外の町、川崎があるからだ。川崎の空をきれいにできるのは革新でしかない」と伊藤氏の応援演説を行いました。革新市政は「移動市役所」を誕生させ、母親たちは度々足を運び「児童館を作ってほしい」と陳情を行いました。その席で伊藤市長は「菅生をいつまでも川崎の『僻地』にはしておかない」とし、児童館が建てられる目途がついたのでした。

段ボール文庫から「児童館を作る会」が発足しておおよそ7年。菅生こども文化センターの誕生となります。

計報
本紙「ながい編集後記」の前、「どうしたらいいの？」を六十回執筆してくださり、菅生こども文化センターの建設運動の主要メンバーの一人だった、十文字美恵様が六月十一日、永眠されました。八十三歳でした。
長年の功績に感謝申し上げます。ご家族、ご親族の皆様にも心よりお悔やみ申し上げます。
合掌